

(一財)運輸総合研究所 第67回運輸政策セミナー 2020年11月30日
観光と地域交通～ポストコロナ時代を見据えて

パネルディスカッション

コーディネータ

東京都立大学都市環境学部観光科学科

清水 哲夫

「観光と地域交通に関する研究会」座長代理

パネリスト(敬称略, 50音順)

- **大井 尚司** 大分大学経済学部経営システム学科教授
- **小林 昭治** (一社)八ヶ岳ツーリズムマネジメント代表理事
- **古竹 孝一** いすみ鉄道(株)代表取締役社長
- **松本 順** (株)みちのりHD代表取締役グループCEO
- **吉田 晶子** (独法)国際観光推進機構(JNTO)理事長代理

パネルディスカッションの目的

1. 「提言」内容に既に取り組んでいる交通事業者や(地域)観光振興組織の事例報告から、実施の際の**困難**や、**成功**のポイントを探る。
2. 交通事業者や(地域)観光振興組織の立場から、改めて「提言」内容の**課題**を整理する。特に、**ポストコロナ時代**を考慮し、**計画・政策・制度**面で早急に取り組むべき事項を共有する。

4つのラウンドの内容

1. 観光地における交通サービス提供の課題～**供給側**の視点から(25分)
 - **バス事業**における観光対応～その課題と解決のための基本戦略（松本：7分）
 - いすみ**鉄道**と地域観光振興～経験から見えてくる課題（古竹：7分）
2. 観光地における二次交通の課題～**需要側・観光地**の視点から(20分)
 - **インバウンド**観光客を地域に誘導する立場から見た課題（吉田：5分）
 - **観光地づくり**を実践する立場から見た課題～八ヶ岳観光圏での経験から（小林：5分）
3. 観光地における交通の**計画・政策・制度面**の課題(20分)
 - 観光地を抱える自治体の**交通計画**のあり方～法制度・人材・技術の観点から（大井：7分）
4. まとめ（5分）

各ラウンドの論点例

1. **観光地における交通サービス提供の課題～供給側の視点から**
 - 交通事業者はポストコロナ時代の**観光需要を経営上どのよう**
に位置づけるか？
 - 地域公共交通利用を巡る**観光客と住民の共生・コンフリクト**
をどのように管理するか？
 - 観光事業者との**調整・協働**には何が必要か？
2. **観光地における二次交通の課題～需要側・観光地の視点から**
 - 交通事業者と観光事業者の**調整・合意形成プロセス**をどのよ
うに設計するか？
 - 観光事業者はポストコロナ時代の公共交通経営や交通サービ
スに何を**期待**するか？
3. **観光地における交通の計画・政策・制度面の課題**
 - 観光事業者は**地域公共交通計画**にどう関与するか？
 - **観光MaaS**を有効に機能させるために必要なことはなにか？
 - 地域観光地の交通マネジメントに必要な**人材**をどのように育
成・供給していくか？

進め方

- 時間管理の都合上，セッション中の**発言はパネリストとコーディネータのみ**とさせていただきます。
- 質問や論点提示は**チャット機能**を活用ください。コーディネータが確認し，セッション中および質疑応答中に状況に応じて披露させていただきます，パネリストおよびコーディネータから回答させていただきます。

まとめ

1. 「提言」内容に既に取り組んでいる交通事業者や(地域)観光振興組織の事例報告から、実施の際の**困難**や、**成功**のポイントを探る。
2. 交通事業者や(地域)観光振興組織の立場から、改めて「提言」内容の**課題**を整理する。特に、**計画・政策・制度**面で早急に取り組むべき事項を共有する。